

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	福岡東総合庁舎敷地オフィスビル( )	階数	地上12F、地下1F
建設地	福岡市博多区博多駅東1丁目218番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,250 人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,080 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、飲食店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年2月8日
敷地面積	2,690 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社久米設計 濱邊 信晴
建築面積	1,809 m <sup>2</sup>	確認日	2022年2月9日
延床面積	21,486 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社久米設計 磯矢 孝



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 2.0** ★★★★★☆

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.5

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.8

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.5

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.6

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 福岡市博多区に建設されるオフィスビルの計画であり、まちの賑わいと回遊性を向上する「結節点」となる、施設や屋外の計画を行った。	<b>その他</b> 特になし。	
<b>Q1 室内環境</b> 壁と窓を交互に配置した外壁構成による開口部の縮減と遮熱性能の高いガラスの採用により熱負荷低減に配慮し、建物利用者の快適性向上を図った。	<b>Q2 サービス性能</b> リフレッシュスペースの計画による快適性やゆとりある天井高さや無柱空間により、オフィス貸室のフレキシビリティを高める計画とした。また、更新必要間隔の長い材料や防汚性の高い材料を採用し耐用性に配慮した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 緑豊かな並木のある歩行空間や広場、建物への壁面緑化を施すことで、まちの魅力的な景観づくりに配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> Low-eガラスやLED照明等高効率設備を採用し省エネルギーに配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水機器やリサイクル材、地産産木材を多く活用したインテリア等を採用し、地球環境保護に配慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 外壁のガラスの範囲を抑えたことで、周辺への反射光などの影響を少なくした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される